

## ピアスの穴あけについての同意書

ピアスの穴開けをすることにより起こりえる下記の合併症や後遺症については「医療過誤」とはなり得ませんのでご了承ください。

- 1) ケロイド体質の方は、ピアス周囲の皮膚が赤く盛り上がる場合があります。
- 2) 体質によっては、ピアス周辺にしこりができる場合があります。
- 3) ピアスを留めているキャッチを強くしめすぎると、ピアスあるいはキャッチが皮膚の中に埋まってしまうことがあります。
- 4) 耳の形には左右差があるため、ピアスホールの位置に多少のずれが生じる可能性があります。
- 5) ピアスの穴をあけた後に出血することがあります。  
また、ピアスをつけている間は常に感染の可能性があります。
- 6) ピアスの穴をあけることにより、炎症症状や化膿をおこすことがあります。  
そのような症状がみられた場合、ピアスは外さずに受診してください。  
(消毒薬は使用しないでください。消毒薬でかえってかぶれる可能性があります。)
- 7) ピアスホールが完成するまで6週間ほどかかります。  
その間にピアスが外れてしまうと穴が塞がる場合があります。  
6週間後のセカンドピアスへの交換が不安の際は、セカンドピアスをご持参のうえ、受診してください。
- 8) 感染等のトラブルが発生した場合、治療には別途料金が発生いたします。  
(治療は基本保険診療で行います。)

ピアスの穴開けを行った場合の上記の内容について十分に理解しました。  
その上で、自己の責任において施術を受けることに同意いたします。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

氏名 \_\_\_\_\_

(申し込み者が未成年の場合)

保護者氏名 \_\_\_\_\_